

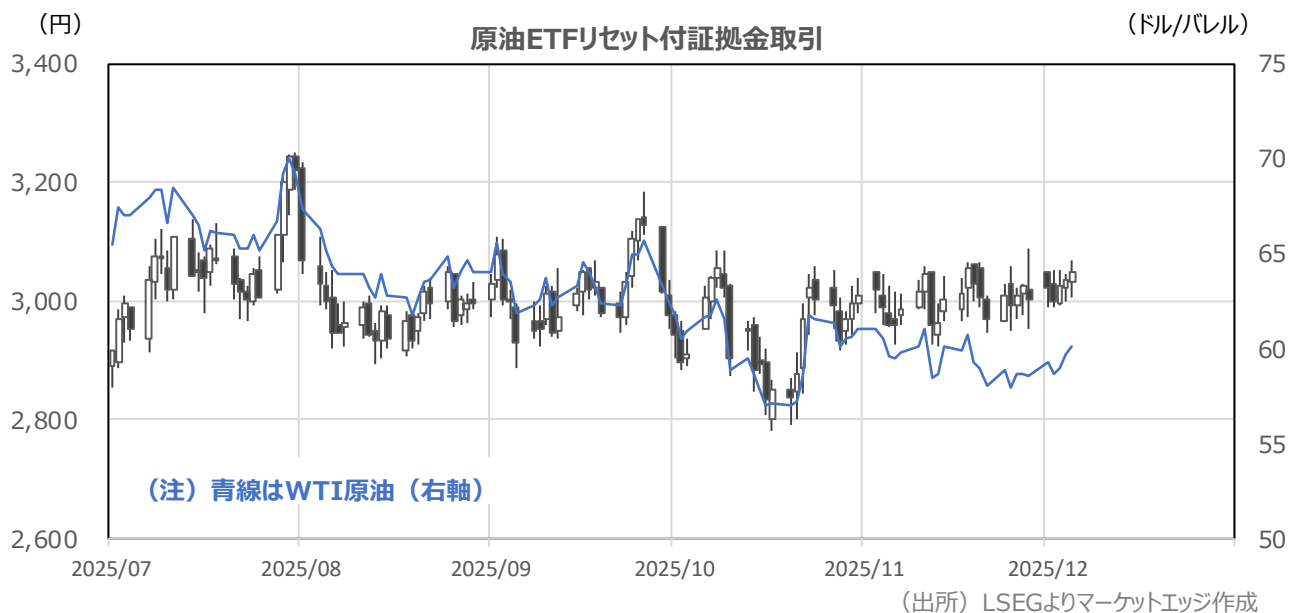
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/12/08号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



地政学リスクが下値を支える

NY原油先物相場は、1バレル=50ドル台後半で売買が交錯した後、60ドル台を回復する展開になった。地政学リスクの高まりを受けて、供給不安を織り込む形で底固く推移した。ウクライナ和平協議に目立った進展が見られなかったこともポジティブ。60ドル台では戻りを売り込む動きも見られたことで大きな値動きには発展しなかったが、11月19日以来の高値を更新した。

12月入りと前後して地政学リスクの高まりが、改めて原油相場を下支えしている。黒海周辺ではウクライナとロシアの戦闘が激しさを増しており、石油関連施設にも影響が出ている。カスピ海パイプライン・コンソーシアム（CPC）が保有する黒海沿岸の石油ターミナル、ロシアとハンガリーなどを結ぶドルジバ・パイプラインなどが攻撃を受けている。一方、トランプ米大統領は違法麻薬問題に関連して、ベネズエラに対する地上攻撃を開始する可能性を示唆している。ロシア産とベネズエラ産原油の供給不安が同時に高まっていることが、原油相場を下支えした。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（11月28日時点）は、原油が前週比57万バレル増、ガソリンが452万バレル増、石油精製品が206万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

地政学リスク警戒も、戻りは売られる展開

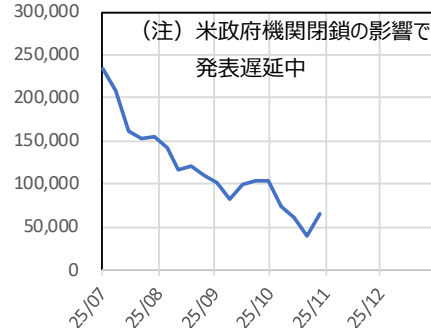
地政学リスクの高まりが原油相場を下支えするも、戻り売り優勢の地合が維持される見通し。ロシア産とベネズエラ産の供給不安が高まっており、新たな供給不安が浮上すれば一時的に上昇する可能性は否定できない。ウクライナ軍がロシア石油関連施設を攻撃すれば、さらに買いが膨らむ可能性は排除できない。また、米軍がベネズエラに対する地上攻撃に踏み切ると、61～62ドル水準まで切り返す可能性もある。ただし、需給緩和見通しに修正を迫る動きには発展しない見通しであり、これまでと同様に地政学リスクを織り込む上昇局面は売り場になる可能性が高い。ボックス気味の相場展開の中で乱高下を繰り返しつつ、50ドル台後半にコアレンジを切り下げる展開が続く見通し。

ウクライナ和平協議は難航している。米国が取りまとめた「新和平案」に対してウクライナとロシアの双方が修正を迫っている模様だ。特にロシアは軍事侵攻に自信を示しており、和平合意を急ぐムードにはない。交渉決裂の可能性が高まると買いが膨らみやすくなる一方、合意に向かって大きな進展がみられるとサプライズ感が強く、直近安値のある57～58ドル水準まで軟化する可能性が高まる。

また、12月11日には国際エネルギー機関（IEA）と石油輸出国機構（OPEC）の月報が公表される。11月はともに2026年に向けての需給緩和見通しが示されたことが、原油相場を下押する要因の一つになった。今月報でも需給緩和見通しが再確認されると、上値の重さも再確認されよう。

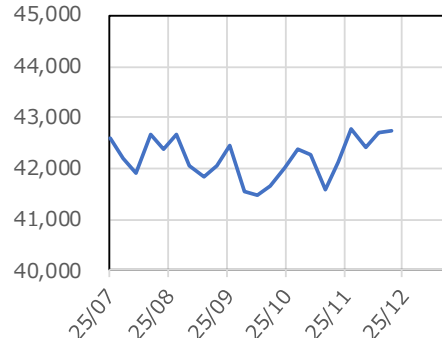
12月9～10日に米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。0.25%の利下げは織り込みが進んでいるが、実際の利下げ決定後の株価やドル相場の動向には注意が必要。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



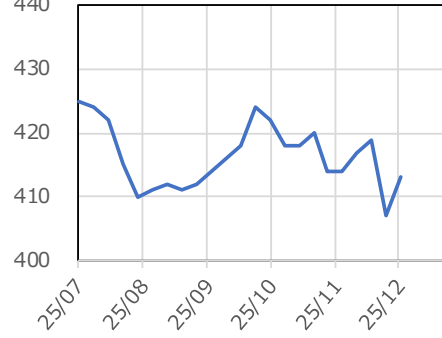
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

